

# 多面的機能支払交付金の5年間の取組と効果

高めよう 地域協働の力！



このロゴマークは、地域協働の心、農地・水の情景に彩られた多面体が農業農村の多面的機能をあらわし、それを地域の共同活動の手が守っているというデザインです。

令和元年11月6日

農林水産省 農村振興局 整備部 農地資源課

多面的機能支払推進室

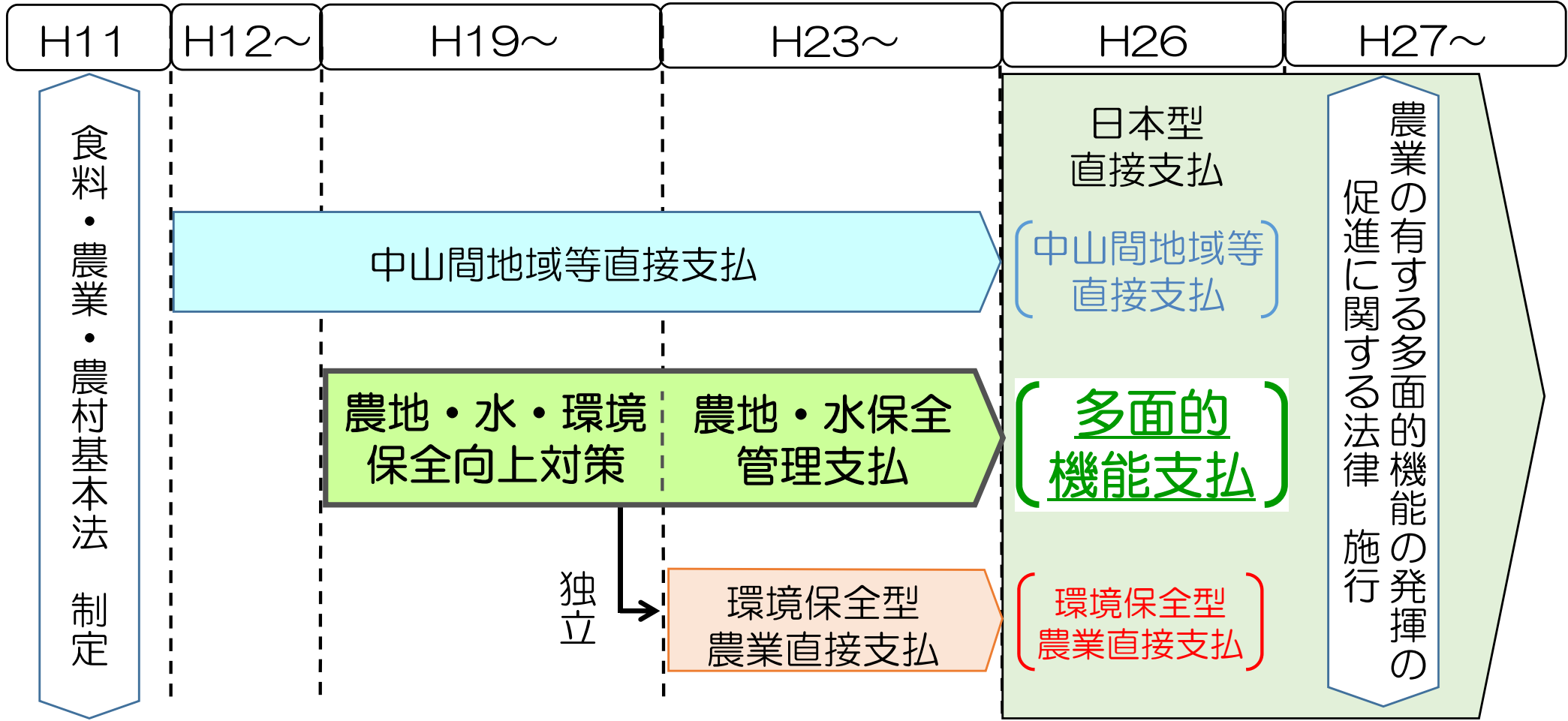
長山 政道

1. 農業・農村の多面的機能とは	1
2. 多面的機能支払制度の変遷について	2
3. 平成30年度に行った施策の評価について	4
4. 令和元年度以降の見直し	11
5. 多面的機能支払の効果に係る広報について	14



## 2. 多面的機能支払制度の変遷について

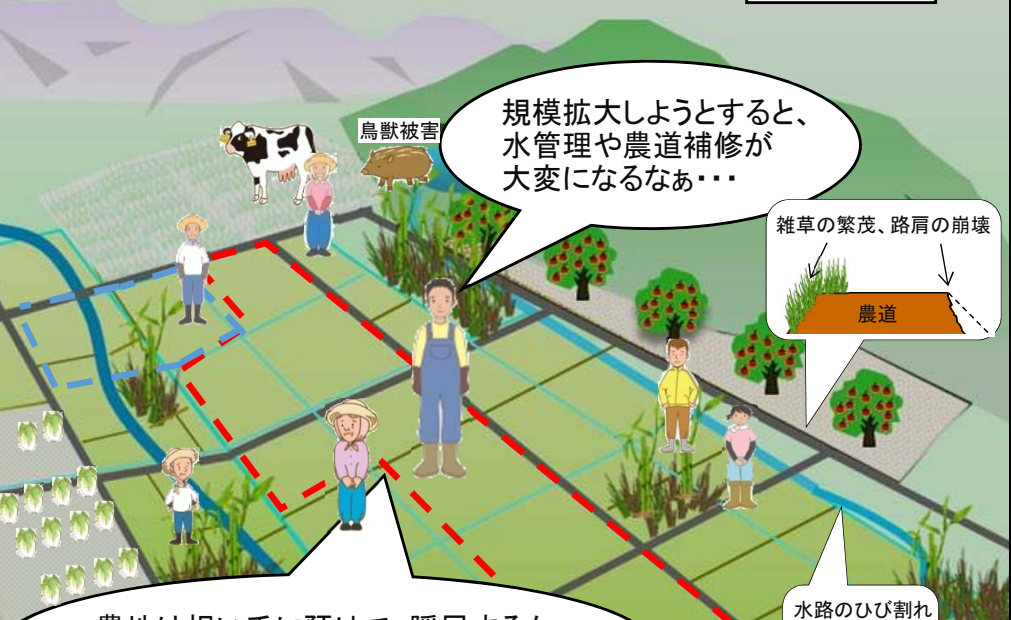
- 平成19年度～ 農地・水・環境保全向上対策を開始。
- 平成26年度～ 日本型直接支払（中山間地域等直接支払、**多面的機能支払**、環境保全型農業直接支払）を開始。
- 平成27年度～ 『農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律』に基づく制度として実施。



### 「多面的機能支払」の目的

農用地、水路、農道などの地域資源を適切に保全管理することにより、  
**①多面的機能を適切に維持・発揮、②担い手農家への農地集積を後押し。**

対策前



このまま高齢化等が進めば...

- ・水路や農道等の保全・補修に係る担い手の負担が増大
- ・農地を預けた人の中には地域を離れる人も

対策後



水路や農道等を保全・補修する地域の共同活動を支援

- ・担い手の負担が減り、安心して規模拡大に取り組める
- ・担い手への農地集積という構造改革を後押し

主食用米の作付や生産調整の達成とリンクしない新たな支払(デカップリング)は、経営判断をゆがめることがなく、選択の幅を広げる

多面的機能支払の導入

農業の多面的機能は、これまで集落の人々が無償で水路、農道を守ることにより維持

高齢化、人口減少により集落活動が低迷

都市では、道路や水路の管理費用は自治体が負担



水路の泥上げ



道普請

- 多面的機能を維持・発揮
- 担い手を支える集落共同活動や担い手以外の人達を含めて6次産業化、都市との交流で地域が活性化

農産物の加工・販売

